

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0140020 _ 001

【1.基本情報】

事業名	主要事業啓発新聞等広告料					
担当部名	市長公室		担当課名	広報広聴課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
実施期間	平成	20	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	新聞やテレビ放送、雑誌等のメディアの有料広告枠を活用し、岐阜市の観光情報や市政情報などを広く市民や市外に対してPRし、岐阜市の認知度向上を図る。					
内容 (手段・手法など)	新聞、テレビ放送、雑誌等の有料広告枠に、岐阜市の観光情報や市政情報などを掲載。					
事業の 対象	何を	岐阜市の観光情報や市政情報を掲載した新聞、テレビ放送、雑誌等の有料広告				
	誰に	市民ほか				
	どのくらい	年8～10件程度				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	845	26	840	26	827	26
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	845	26	840	26	827	26

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		1,257	1,053	1,257
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	新聞広告	982	778	982
	テレビ	165	165	165
	雑誌	110	110	110
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,257	1,053	1,257

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	2,102	1,893	2,084

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	2,102	1,893	2,084

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	読者等	読者等	読者等
受益者数	-	-	-
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	広告掲載件数		単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	10		8	10
実績値	14		8	13

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	—		単位	—
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—		—	—
実績値	—		—	—
達成状況	—	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	市政情報等を外部に広報する手段として、広告の掲載は重要なもののひとつである。 岐阜市をPRする広告であり、市が事業を担うことが適正である。 市政全体を取り扱う広告事業については類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	様々な媒体に廉価で掲載しているが、更なるコスト縮減に努める。 各種媒体を利用し岐阜市の情報を発信するものであり、岐阜市が実施することが効率的である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	新聞等、市民等が日常目にすることの多い媒体を利用することで、広く市民に対し市政情報等をPRしている。今後は、その購読層や掲載紙面の構成等を精査した上で、より受け手に伝わる広告内容の作成に努める。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	各種媒体を利用し、広く市民等に市政情報等を発信するよう努めている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	市政情報等について広く知らしめるため必要な事業である。今後も、より多くの方に市政情報等を届けるため、様々な広告媒体を活用するとともに、その購読層や掲載紙面の構成等を精査した上で、より受け手に伝わる広告内容の作成に努める。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	0140020	__ 002
----	---------	--------

【1.基本情報】

事業名	市政モニター事業					
担当部名	市長公室		担当課名	広報広聴課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	23	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民の市政に対する意識、ニーズ等を迅速かつ効果的に把握するとともに、モニターを通じて更なる市政への関心の向上並びに市民参画意識の醸成を図る。					
内容 (手段・手法など)	市公式ホームページのアンケート入力機能を活用して、アンケート調査を実施する。					
事業の 対象	何を	市政や各事業についての市民意識や意見の調査				
	誰に	応募者(市内在住の満18歳以上・定員200人)				
	どのくらい	年間約6回				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,113	65	2,100	65	2,067	65
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,113	65	2,100	65	2,067	65

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		193	191	191
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	報償費	193	191	191
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		193	191	191

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	2,306	2,291	2,258

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	2,306	2,291	2,258

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	408,109	406,407	402,965
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	6	6	6

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	アンケート実施回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	6		6	4
実績値	6		6	4

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	アンケート回答率		単位	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	90		90	90
実績値	92		90	91
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	広く市民の意見を聴取するための重要な手段となっている。 市の事業について意見を募る事業であり、市が事業を担うのが適切である。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	インターネットを活用することにより費用を抑制し、また回答者の手間も紙でのアンケート等に比べ省けている。 岐阜市が自らの事業について意見を募る事業であり、岐阜市が直接実施することが効率的である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	平均回答率は90%以上と高く、また、幅広い年齢層(10代～80代)で様々な職業(会社員、自営業、家事、学生など)の市民の意見を抽出できている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	広報紙及び市公式ホームページにおいて広く公募しており、募集方法においては公平である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	幅広い年齢層・職業の市民の意見を聴取し、市政の政策・施策へ反映させるため必要な事業であり、引き続き効率的な実施に努める。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0140020 _ 003

【1.基本情報】

事業名	最適な広報媒体の活用(SNS等)					
担当部名	市長公室		担当課名	広報広聴課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	25	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	Facebook, Twitter, LINE, YouTubeの市公式アカウントを活用し、市政に関する情報等をタイムリーに広報する。					
内容 (手段・手法など)	Facebook, Twitter, LINE, YouTubeの市公式アカウントから情報を発信する。					
事業の 対象	何を	市政に関する情報				
	誰に	市公式アカウントのフォロワー等				
	どのくらい	1日1回程度の頻度で発信				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	発信の時間帯や発信情報の統一性を図りながら投稿数の増加を図った。					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,073	33	1,066	33	1,272	40
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,073	33	1,066	33	1,272	40

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		0	0	0
	直接事業費の 主な内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目		0	0	0
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	0	0

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	1,073	1,066	1,272

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	1,073	1,066	1,272

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	フォロワー等	フォロワー等	フォロワー等
受益者数	-	-	-
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	記事投稿回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	252	252	252	252
実績値	552	720	720	897

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	—		単位	—
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	—	—	—
実績値	—	—	—	—
達成状況	—	—	—	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	PC・スマートフォンが普及している現代社会において、情報を様々な ツールでタイムリーに発信することは市民のニーズに合っている。 市政情報をタイムリーかつ適切に発信するため、市が担うのが適当で ある。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	作業に従事する職員の人件費以外の費用は要しないため、費用対効果 は高い。 市民に情報を速やかに届けるため、様々なツールで情報を発信するこ とが重要であるため、適切である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	各SNSのフォロワー等に情報を届けることができた。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	各SNSは、誰でも利用できるため公平である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	適切に情報を発信し、更に多くのフォロワー等の獲得を目指していく。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0140020 _ 004

【1.基本情報】

事業名	くらしのガイドの発行					
担当部名	市長公室		担当課名	広報広聴課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	52	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民に不便のない生活を送っていただくため、日常生活に必要な市政情報とその担当部署の情報を提供する。					
内容 (手段・手法など)	各種届出、防災、税金、福祉、子育て、教育、健康、環境などに関する情報など、日常生活に必要な市政情報とその担当部署を掲載した、「くらしのガイド」を発行している。転入者に配布するほか、公共施設に配置している。					
事業の 対象	何を	日常生活に必要な市政情報				
	誰に	市民				
	どのくらい	A4判48ページ、18,000部を発行するとともに、市ホームページに掲載。				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,950	60	1,938	60	1,908	60
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,950	60	1,938	60	1,908	60

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		231	675	699
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	印刷	231	675	699
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		231	675	699

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	2,181	2,613	2,607

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	118	132	119
計(F)	118	132	119

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	2,063	2,481	2,488

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	408,109	406,407	402,965
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	5	6	6

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	発行部数		単位	部/年
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	20,000	20,000	18,000	
実績値	20,000	20,000	18,000	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	-		単位	-
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	-	-	-	
実績値	-	-	-	
達成状況	—	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	市民が不便のない生活を送る上で、日常生活に必要な市政情報とその担当部署の情報の提供は必要である。 市政情報を発信するものであり、市が担う必要がある。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか(広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市政情報を発信するための有効な手段である。 市政情報を発信するための有効な手段である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	手にとって読むことができること、一覧性に優れていることなど、紙媒体での情報提供は幅広い世代に有効である。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	令和元年度から配布対象者を主に転入者とした。市役所庁舎、市事務所、コミュニティセンター・地区公民館など市公共施設に配置するとともに、市ホームページなどに掲載している。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	市民が不便のない生活を送る上で、日常生活に必要な市政情報とその担当部署の情報の提供は必要であり、紙媒体での情報提供は幅広い世代に有効である。 なお、令和4年度は発行部数を2,000部削減した。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0140020 _ 005

【1.基本情報】

事業名	広報ぎふの発行					
担当部名	市長公室		担当課名	広報広聴課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	23	年度～	年度	根拠法令・関連計画	
					—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民サービスの充実に加え、行政の説明責任を果たすため、日常生活に直結する税金、福祉、保健などの制度・制度変更に関する市政情報を、迅速かつ的確に市民にお知らせするとともに、市民の暮らしを豊かにするための生涯学習講座や健康講座等の情報、さらには、市の政策を推進するための文化・芸術、観光、農業、環境などの各種催し情報を提供する。					
内容 (手段・手法など)	市政情報、各種講座・催しの情報などを掲載した広報ぎふを、毎月2回、1日、15日に発行している。また、視覚に障がいのある方へ情報を提供するため、点字版と録音版を作成して希望者へ配布している。					
事業の 対象	何を	市政情報、各種講座・催しの情報など				
	誰に	市民				
	どのくらい	タブロイド判135,000部、点字版180部、録音版65本をそれぞれ月2回発行。なお、市ホームページ、広報紙アプリ「マチイロ」「広報プラス」「カタログポケット」などにも掲載。				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	20,800	640	20,672	640	20,352	640
パートタイム会計年度任用職員A	1,545	150	1,545	150	3,636	360
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	22,345	790	22,217	790	23,988	1,000

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		82,272	85,808	85,979
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	印刷・配布	78,171	81,707	81,878
	点字版制作	2,465	2,465	2,465
	録音版制作	1,636	1,636	1,636
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		82,272	85,808	85,979

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	104,617	108,025	109,967

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	1,192	1,169	1,163
県支出金	664	622	599
市債	0	0	0
使用料・手数料	2,370	2,355	2,364
その他	3,784	3,691	4,135
計(F)	8,010	7,837	8,261

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	96,607	100,188	101,706

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	408,109	406,407	402,965
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	237	247	252

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	発行部数		単位	部/月
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	270,000	270,000	270,000	
実績値	270,000	270,000	270,000	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	市政情報の迅速かつ的確な提供		単位	-
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	-	-	-	
実績値	-	-	-	
達成状況	—	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	市民サービスの充実に加え、行政の説明責任を果たす上で、日常生活に直結する市政情報等の提供は必要である。 市政情報等を発信するものであり、市が担う必要がある。 類似の事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市政情報等を発信するための有効な手段である。 手にとって読むことができること、一覧性に優れていることなどから、紙媒体での情報提供は幅広い世代に有効である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	手にとって読むことができること、一覧性に優れていることなどから、紙媒体での情報提供は幅広い世代に有効である。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	自治会加入世帯に配布するほか、市役所庁舎、市事務所、コミュニティセンター・地区公民館など市公共施設に加え、郵便局、金融機関、コンビニエンスストア(それぞれ一部店舗を除く)に配置するとともに、市ホームページ、広報紙アプリ「マチイロ」「広報プラス」「カタログポケット」などに掲載している。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	市民サービスの充実に加え、行政の説明責任を果たす上で、日常生活に直結する市政情報等の提供は必要である。紙媒体での情報提供は幅広い世代に有効であり、今後も親しみやすく、読みやすい紙面となるよう努めていく。 なお、市ホームページ、広報紙アプリへの掲載状況を考慮し、コンビニ等への配置部数などを精査、令和元年度に発行部数を1号あたり2,000部削減した。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0140020 _ 006

【1.基本情報】

事業名	ふるさと納税を活用したシティプロモーション事業					
担当部名	市長公室		担当課名	広報広聴課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類	—	実施主体	岐阜市、株式会社フューチャーリンクネットワーク	
開始・終了年度	平成	27	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	ふるさと納税制度を活用し、市外在住の寄附者の方に返礼品として本市にゆかりある土産物や農産品などの特産品等を送付することにより、実際に品物に「見て」、「触れて」、「食べ」、「体験し」ってもらうことで、本市の認知度の向上を図る。					
内容 (手段・手法など)	ふるさと納税制度を活用し、市外在住・個人で一定額以上の寄附をいただいた方に岐阜市をPRできる特産品等を贈る					
事業の 対象	何を	岐阜市をPRできる特産品等				
	誰に	市外在住の個人で一定額以上の寄附をされた方				
	どのくらい	市外在住の個人からの一定額以上の寄附件数				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	R4.7月に、ふるさと納税における支援業務委託を契約。 登録返礼品数 R4.4月:102品 ⇒ R5.3月:703品					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,120	96	3,101	96	3,053	96
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,120	96	3,101	96	3,053	96

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		4,025	3,309	11,838
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	報償費	4,025	3,309	2,392
	委託料	0	0	9,223
	広告料	0	0	223
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		4,025	3,309	11,838

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	7,145	6,410	14,891

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	4,025	3,309	11,838
計(F)	4,025	3,309	11,838

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	3,120	3,101	3,053

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	市外在住の個人で一定額以上の寄附をされた方	市外在住の個人で一定額以上の寄附をされた方	市外在住の個人で一定額以上の寄附をされた方
受益者数	604	563	1,332
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	5,166	5,508	2,292

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	特産品等の発送件数		単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	800	800	800	
実績値	604	563	1,332	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	—		単位	—
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	—	—	
実績値	—	—	—	
達成状況	—	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	ふるさと納税に伴う返礼品の送付は全国的に普及している事業であり、寄附者に対するプロモーション、及び寄附者がお礼の品を求めているというニーズを考慮して必要な事業であると考え。 市に対する寄附金に対し特産品等を贈るものであり、市が自ら事業を実施することが適正と考える。 ない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	毎年岐阜市に寄附を行っていただく岐阜市のファンといえる方も出てきており、受益者(寄附者)に対して直接岐阜市の魅力をPRできる手段であるため、費用対効果は高いといえる。 令和4年度において、返礼品の調達や拡充に関する業務等を民間に委託しており、寄付件数の増加に伴う返礼品の調達も効率的に実施できている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	特産品等の送付件数は開始年度と比べて増加しており、より多くの寄附者に対し岐阜市をPRできていると考える。 返礼品送付実績 令和 2年度: 604件(対前年比:131.3%) 令和 3年度: 563件(対前年比: 93.2%) 令和 4年度: 1,332件(対前年比: 237%)
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	寄附額に応じて特産品等を選択することができ、適正であると考え
〔総合評価〕 ・拡充:目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持: 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善:目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止:実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	令和5年度も同様に、返礼品開発業務等について外部委託を行い、これまで以上に岐阜市ならではの魅力的な返礼品をさらに追加し、寄付件数の増加を図り、市の認知度向上や交流人口の増加を図っていく予定。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0140020 _ 007

【1.基本情報】

事業名	名古屋・尾張フリーペーパー広告					
担当部名	市長公室		担当課名	広報広聴課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	株式会社中広	
開始・終了年度	令和	元	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市シティプロモーション戦略

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	本市から最も転出者が多い愛知県(特に名古屋市、尾張エリア)に向けて、住民に身近なフリーペーパーを活用したシティプロモーションを行うことにより、本市への交流人口および定住人口の増加を図る。					
内容 (手段・手法など)	名古屋・尾張エリアに配布されるフリーペーパーに岐阜城、鶯飼など地域資源の魅力や、教育、子育てなどの取組み、更には住環境の良さなどをPRする広告を掲出する。					
事業の 対象	何を	地域資源の魅力や、教育、子育てなどの取組み、更には住環境の良さなどをPRする広告を				
	誰に	名古屋市、尾張エリアの居住者に				
	どのくらい	名古屋市内(8万部×2回)※名古屋フリモ 一宮市・稲沢(21万部×2回)※くれよん 春日井(11万部×2回)※はるる				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	975	30	969	30	954	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	975	30	969	30	954	30

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		4,277	2,999	2,999
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	広告料	4,277	2,999	2,999
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		4,277	2,999	2,999

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	5,252	3,968	3,953

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	2,138	1,499	1,499
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	2,138	1,499	1,499

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	3,114	2,469	2,454

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	名古屋市、一宮市、稲沢市の居住者	名古屋市、一宮市、稲沢市などの居住者	名古屋市、一宮市、稲沢市などの居住者
受益者数	1,160,000	452,400	812,800
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	3	5	3

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	フリーペーパーへの掲載回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	12		8	6
実績値	12		8	6

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	読者が「エココタント」HPを閲覧した回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	2,000	2,000	2,000	
実績値	1,622	463	1,268	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	将来にわたり持続可能な都市経営を行っていくため、「交流人口の拡大」、「定住人口の拡大」を目指し、ターゲットとなる名古屋都市圏在住の20~30代、子育て世代に、本市の話題スポットや教育、子育てなどの取り組み、住環境の良さなどをPRすることは必要である。 市の魅力を発信する事業であるため、市が担う必要がある。 類似事業なし
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか(広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	費用対効果を考え、岐阜市近郊の愛知県内の市町に絞って広告記事を掲載している。 自治体間競争であるため広域連携にはそぐわないが、民間との連携や、市民協働で推進していくことも検討する必要がある。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込みか ※【2】【7】から	中	エココタントHPが1,268回の閲覧され、岐阜市の魅力を発信できた。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	低	名古屋都市圏在住者への情報発信であり、市民が直接情報を得られるものではないが、その目的である「交流人口の増加」、「定住人口の増加」は、まちの活力を維持することに繋がるものであるため適正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	改善	掲載する情報の内容を精査するとともに、最も効果的・効率的な媒体や掲載時期を研究し、情報発信を行う必要がある。 ・掲載媒体：名古屋市の中川版FP、一宮・稲沢版FP、春日井版FP(令和4年度) ・掲載回数：年2回×3地区(令和4年度)

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	0140020	008
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	インターネット・インスタグラム広告					
担当部名	市長公室		担当課名	広報広聴課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	インターネット広告 株式会社中広 インスタグラム広告 株式会社中日アド企画	
開始・終了年度	令和	元	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市シティプロモーション戦略

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	【インターネット広告】名古屋都市圏在住者を対象にパソコンやスマートフォンでユーザーが求める情報と連動して表示されるインターネット広告を活用し、本市への定住人口を増加させるために情報発信を行う。 【インスタグラム広告】愛知県と岐阜県(岐阜市を除く)の20～30代を対象として、インスタグラム広告を活用し、岐阜市の魅力を発信することで市の認知度向上と交流人口の増加を図る。					
内容 (手段・手法など)	【インターネット広告】過去の検索履歴や閲覧したコンテンツをもとに、住居を探している人、移住を検討している人などに対して、Yahoo!サービス内の広告枠を使い、バナー等で広告(リンク)を配信する。広告をクリックしたリンク先は、「エトコタト岐阜市」の「暮らし」ページとし、岐阜市の子育て、教育、医療環境などの魅力を発信する。 【インスタグラム広告】過去のいいね!履歴やユーザーの興味関心がある項目をもとに、岐阜市に興味がある人などに対して、バナーで広告(リンク)を配信する。広告をクリックしたリンク先は、「エトコタト岐阜市」の「トップ」ページとし、岐阜市の魅力を発信する。					
事業の 対象	何を	岐阜市の魅力				
	誰に	【インターネット広告】移住に興味がある名古屋都市圏在住の20～30代を対象に 【インスタグラム広告】岐阜市に興味がある名古屋都市圏在住の20～30代を対象に				
	どのくらい	【インターネット広告】R5年1月～R5年3月の3か月間で、計3,000回 【インスタグラム広告】R4年7月の1か月間で、アクセス数2,000回				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	【インターネット広告】 キャッチコピー「住みやすいから選ばれる岐阜市」でバナーを作成し、Yahoo!サービス内の広告枠に掲載した。					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	325	10	323	10	636	20
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	325	10	323	10	636	20

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		341	330	589
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	広告掲載料	341	330	589
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		341	330	589

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	666	653	1,225

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	293
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	293

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	666	653	932

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	移住に興味がある名古屋都市圏在住の方	移住に興味がある名古屋都市圏在住の方	【インターネット広告】移住に興味がある名古屋都市圏在住の方 【Instagram広告】愛知県、岐阜県(岐阜市を除く)20代～30代
受益者数	5,464	5,629	5,225/5,286
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%/0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	122	116	47/65

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	【インターネット広告】バナー広告表示回数、【Instagram広告】バナー広告表示回数	単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	8,000,000	8,000,000	8,000,000/2,000,000
実績値	11,812,224	9,905,484	6,072,935/985,229

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	【インターネット広告】「エレクトロニック」HPの暮らしのアクセス数 【Instagram広告】「エレクトロニック」HPのトップページのアクセス数	単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標値	5,000	5,000	5,000/2,000
実績値	5,464	5,629	5,225/5,286
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	持続可能な岐阜市を実現するために、「定住人口の増加」に向けた情報発信を行うことは重要な取り組みである。 市の魅力を発信する事業であるため、市が担う必要がある。 類似事業なし
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	【インターネット広告】広告表示回数は6,072,935回で、広告クリック数は5,225回、1人当たりの広告費換算は約47円であり、効率的に運用できている。 【Instagram広告】広告表示回数は985,229回で、広告クリック数は5,286回、1人当たりの広告費換算は約65円であり、効率的に運用できている。 自治体間競争であるため広域連携にそぐわず、また、民間活用や市民協働も困難である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	【インターネット広告】 検索連動型広告を配信することで、情報を必要とする人に岐阜市の魅力を発信できているといえるため有効である。 【Instagram広告】 ユーザーの興味関心に連動した広告を配信することで、岐阜市に興味がある人に市の魅力を発信できているといえるため有効である。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	主に名古屋都市圏在住者への情報発信であり、市民が直接情報を得られるものではないが、その目的である「定住人口の増加」と「交流人口の増加」は、まちの活力を維持することに繋がるものであり、受益者負担として適正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	改善	サーチキーワード等の見直しやバナーの内容を検討し、岐阜市の魅力をさらに多くの人に知ってもらい、「定住人口の増加」と「交流人口の増加」を図っていく。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0140020 _ 009

【1.基本情報】

事業名	「エエトコタント岐阜市」冊子・ホームページ制作					
担当部名	市長公室		担当課名	広報広聴課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	ミュキデザイン/西濃印刷	
開始・終了年度	平成	19	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市シティプロモーション戦略

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	岐阜市の認知度の向上、交流人口、定住人口の増加およびシビックプライドを醸成するため、本市の魅力をもとに冊子およびホームページに集約し、発信を行う。こうした情報発信を通じて、本市への来訪者を増やすことで、まちのにぎわいを生み出し、地域活力の維持・発展へとつなげる。					
内容 (手段・手法など)	岐阜市の魅力をシティプロモーション冊子にまとめるとともに、WEB版を活用して広く本市の魅力情報を発信する。					
事業の 対象	何を	岐阜市の魅力を				
	誰に	岐阜市民および名古屋都市圏在住者に				
	どのくらい	冊子「エエトコタント岐阜市」35,000部、WEB版ホームページ閲覧数30万件以上				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	6,760	208	6,718	208	6,614	208
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	6,760	208	6,718	208	6,614	208

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)		5,085	6,944	7,588
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	印刷製本費	2,838	2,695	2,590
	冊子・ウェブデザイン費	2,189	4,187	4,186
	配架広告料	0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		0	0	0
計(D)=B+C		5,085	6,944	7,588

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	11,845	13,662	14,202

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	253	253
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	253	253

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	11,845	13,409	13,949

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	冊子を手にとった人、ウェブページを閲覧した人など	冊子を手にとった人、ウェブページを閲覧した人など	冊子を手にとった人、ウェブページを閲覧した人など
受益者数	278,930	247,557	236,511
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	42	54	59

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	冊子作成部数		単位	部
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	35,000	35,000	35,000	
実績値	35,000	35,000	30,000	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	認知度(「エエトコタト」ウェブページビュー)		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	300,000	300,000	250,000	
実績値	243,930	212,557	236,511	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	まちの賑わいを生み出し、持続可能な岐阜市を実現するために、シティプロモーションを推進することは重要な取組である。 市の魅力を発信する事業であるため、市が担う必要がある。 類似事業無し
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか(広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	令和4年度のウェブ制作費は149万円、1ページビュー当たりのコストは約6円であり、効率的に運用できている。 自治体間競争であるため広域連携にはそぐわないが、プロモーションの展開については、民間活用、市民協働の「オール岐阜市」で推進していくことができる。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	継続して20万以上の人に岐阜市の魅力を発信できていると言えるため、有効である。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	冊子については、希望者が手に取れるよう、市有施設や集客施設等で配布している。また、ウェブページに関しては、誰もが閲覧可能となっており、公平である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	改善	冊子およびウェブ版「エエトコタト岐阜市」については、掲載内容やデザイン、サイズ、紙質等の見直しを行いながら、更なる認知度向上を図っていく。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0140020 _ 010

【1.基本情報】

事業名	関係人口拡大プロモーション・大使を活用したSNS発信事業					
担当部名	市長公室		担当課名	広報広聴課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和	2	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市シティプロモーション

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	発信力に優れた市プロモーション大使を活用して、SNS (Facebook、twitter、LINE) において市の魅力情報を発信することで、認知度の向上、交流人口や定住人口の増加、シビックプライドの醸成を図る。					
内容 (手段・手法など)	永田薫(MAG! C☆PRINCE) 市の魅力情報を発信する記事を執筆してもらい、市公式SNS (Facebook、LINE、twitter) に写真とともに掲載することで、SNSの閲覧者及びフォロワー等の増加を図る。					
事業の 対象	何を	岐阜市の情報				
	誰に	東海圏在住の20代・30代、名古屋都市圏在住の第一子が未就学の子育て世代、市内在住の30歳未満				
	どのくらい	市公式フェイスブックのフォロワー数6,000人以上、市公式ツイッターのフォロワー数3,000人以上				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,340	72	2,326	72	2,290	72
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,340	72	2,326	72	2,290	72

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		195	132	132
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	委託料	66	132	132
	消耗品費	129	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		195	132	132

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	2,535	2,458	2,422

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	33	66	66
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	33	66	66

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	2,502	2,392	2,356

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	フェイスブック・ツイッターのフォロワー数	フェイスブック・ツイッターのフォロワー数	フェイスブック・ツイッターのフォロワー数
受益者数	7,783	8,821	9,636
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	321	271	244

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	プロモーション大使による記事投稿数		単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	12	24	24	
実績値	12	24	24	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	フェイスブック・ツイッターのフォロワー数		単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	9,000	10,000	10,000	
実績値	7,783	8,821	9,636	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	まちの賑わいを生み出し、持続可能な岐阜市を実現するために、シティプロモーションを推進することは重要な取組である。 市の魅力を発信する事業であるため、市が担う必要がある。 プロモーション大使の永田薫(MAG! C☆PRINCE)氏に執筆してもらいSNSによる情報発信を行う事業は他にはなく、統廃合はできない
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	経費は約13万円で、8,821人のフォロワー1人当たりのコストは、約13円であり、効率的に運用できている。 プロモーションの展開については、民間活用、市民協働の「オール岐阜市」で推進している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	令和3年度のフォロワー数から、815人増加しており有効と言える。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	SNSをフォローした人に情報を届けることができるため、公平である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	改善	掲載する情報の内容を精査するとともに、最も効果的・効率的な手法を研究し、情報発信を行う必要がある。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0140020 _ 011

【1.基本情報】

事業名	岐阜市応援企業WIN-WINリレーションシップ					
担当部名	市長公室		担当課名	広報広聴課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和	3	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	本市を応援していただいている企業や連携したインナープロモーションを実施することにより、企業で働く従業員をはじめ、企業に関わる人の本市に対するシビックプライドの醸成を図るとともに交流人口の増加に繋げる。					
内容 (手段・手法など)	①エエトコタントの配布・配架 ②岐阜市PRポスターの掲示 ③パネル展開催					
事業の 対象	何を	本市の魅力をはじめ、応援企業のイメージアップに繋がる情報など				
	誰に	市民、応援企業(市と包括連携協定を締結し、主要な事業所を岐阜に置く組織)9者における従業員、学生、その家族など				
	どのくらい	エエトコタントを応援企業のオフィス等に設置1500冊程度、岐阜市のPRポスター掲示300枚程度、パネル展4回開催				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	・マグネットステッカーの掲出を廃止 ・パネル展開催数:1回/年 ⇒ 4回/年(+3回) ⇒ パネル展の開催場所を岐阜市庁舎内から応援企業のカラフルタウン岐阜で年3回開催し、ぎふメディアコスモスでも1回開催					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	3,876	120	3,816	120
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	3,876	120	3,816	120

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		0	1,092	177
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	委託料	0	800	0
	印刷製本費	0	86	177
	消耗品費/報酬等	0	206	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		0	1,092	177

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	0	4,968	3,993

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	546	89
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	546	89

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	0	4,422	3,904

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	—	冊子を手に取った人、マグネットステッカーを使用した人など	冊子を手に取った人
受益者数	0	1,790	1,500
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	2,470	2,603

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	冊子設置数		単位	部
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	1,500	1,500	
実績値	—	1,650	1,500	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	岐阜市への誇りを「感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した人の合計の割合		単位	%
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	75.0	75.0	
実績値	—	69.3	48.9	
達成状況	—	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	企業で働く従業員をはじめ、企業に関わる人の本市に対するシビックプライドの醸成を図る重要な取組である。 市の魅力や応援企業のイメージアップに繋がる情報を発信し、シビックプライドの醸成を図る事業であるため、市が担う必要がある。 岐阜市との包括連携協定の締結先のうち、市内近郊に主要な事業所を岐阜に置く組織に説明し同意を得た企業等は他にはなく統廃合はできない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	パネル展の開催による市民へのPRに加え、応援企業のオフィス等に設置したエエトコタントやポスターによる魅力発信やシビックプライド醸成を図る取り組みにより、一定の効果が得られている。 行政・企業・大学等が相互的に情報発信を行い、それぞれの役割に応じた市民や従業員・学生の方のシビックプライドの醸成を推進する。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	岐阜市との包括連携協定の締結先のうち、市内近郊に主要な事業所を岐阜に置く組織に説明し同意を得た企業等と事業遂行している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	民間委託で行っていたパネル展を市が直営で行い経費の削減を図った。引き続き、効果的・効率的な手法を研究し、情報発信を行う必要がある。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	改善	民間委託で行っていたパネル展を市が直営で行い、経費の削減を図った。引き続き、効果的・効率的な手法を研究し、情報発信を行う必要がある。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0140020 _ 012

【1.基本情報】

事業名	市政テレビ番組制作					
担当部名	市長公室		担当課名	広報広聴課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	岐阜放送、CCN	
開始・終了年度	昭和	44	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市シティプロモーション

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	岐阜市に住み、活躍する「人」にフォーカスした番組や、市の魅力や取組みを市民に伝える番組を制作放送することで、本市に住み続けたい、岐阜市民であることを誇りに感じるという「シビックプライドの醸成」を図る。					
内容 (手段・手法など)	生活に密着した市政情報や市民活動およびイベント情報などを紹介する番組を制作し、テレビ放映およびインターネット発信する。					
事業の 対象	何を	生活に密着した市政情報や市民活動およびイベント情報を				
	誰に	市民及び視聴可能エリア内の住民に				
	どのくらい	①ぎふチャン ・あなたの街から岐阜市（毎週金曜日年48回） ・市議会提案説明(1回) ②CCN ・ぎふっCiao（年4本、1本につき放送回数月8回）				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	8,125	250	8,075	250	7,950	250
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	8,125	250	8,075	250	7,950	250

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		24,598	25,139	25,771
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	岐阜放送	23,508	24,039	24,671
	CCN	1,090	1,100	1,100
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		24,598	25,139	25,771

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	32,723	33,214	33,721

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	32,723	33,214	33,721

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	市民並びに視聴可能エリア内の住民	市民並びに視聴可能エリア内の住民	市民並びに視聴可能エリア内の住民
受益者数	2,000,000	2,000,000	2,000,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	16	17	17

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	ぎふチャン(あな街)、CCN(ぎふっCiao) 放送回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	80	80	80	
実績値	80	80	80	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	YouTube平均再生回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	1,500以上	1,500以上	1,500以上	
実績値	1,070	588	790	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	市政情報や市民活動および地域の話題などを視覚的に判りやすく伝えることは、シビックプライドの醸成の観点からも有益である。 岐阜市政に関する情報を発信しており、民間では担い手がいない。 市内のテレビ放送局を活用する事業は他にはなく統合はできない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	県内全域をカバーしており、さらに、放送後にYouTubeでいつでも視聴できるようにするなど効率的な番組制作をおこなっている。 岐阜市に本社を有するテレビ局は、ぎふチャン、CCNの2社しかなく、他に効率的な方法はない。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	市政情報の他、市内で開催されるイベントや市民活動をテレビを含めた様々な媒体で紹介することでより多くの市民に周知を図ることができる。引き続き、番組を見てもらえるような工夫(番組内容、他媒体によるPRなど)を行っていく。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	市民および視聴可能エリアの住民は誰でも視聴できるため、公平である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	改善	令和元年度に内容、放送日時を改善済みである。 放送内容： 岐阜放送番組について、視聴率向上のため、一部番組の出演者を本市出身の著名人に変更 放送日時： CCN番組について、視聴率向上のため、平日週2日放送であったものをうち1日を休日放送にし、放送時間を人気番組の直後に変更

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	0140020	_ 013
----	---------	-------

【1.基本情報】

事業名	市政ラジオ番組制作					
担当部名	市長公室		担当課名	広報広聴課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	岐阜放送、FMわっち	
開始・終了年度	昭和	37	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市シティプロモーション

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	生活に密着した市政情報や市民活動およびイベント情報などを分かりやすく伝え、シビックプライドの醸成を図るとともに、交流人口の増加を図る。					
内容 (手段・手法など)	生活に密着した市政情報やイベントの案内などを放送する。					
事業の 対象	何を	生活に密着した市政情報、イベント案内など				
	誰に	市民をはじめとする電波受信可能エリアの住民に				
	どのくらい	①ぎふちゃん 「岐阜市！元気インフォメーション」:毎週火、金 9:40～9:45 17:40～17:45 ②FMわっち 「とっておき岐阜情報 聴いてミント」:毎日 12:50～12:58 17:50～17:58				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,380	104	3,359	104	3,307	104
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,380	104	3,359	104	3,307	104

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		9,657	10,168	9,964
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	岐阜放送	7,688	7,974	7,870
	FMわっち	1,969	2,194	2,095
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		9,657	10,168	9,964

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	13,037	13,527	13,271

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	33	66	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	33	66	0

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	13,004	13,461	13,271

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	市民並びに視聴可能エリア内の住民	市民並びに視聴可能エリア内の住民	市民並びに視聴可能エリア内の住民
受益者数	2,000,000	2,000,000	2,000,000
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	7	7	7

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	ぎふチャン、FMわっち放送回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	359		926	926
実績値	359		926	926

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	ぎふチャン、FMわっち放送時間		単位	分
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	3,590		6,784	6,784
実績値	3,590		6,784	6,784
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	市民の生活利便性の向上や余暇を楽しむイベント情報などを生活に身近なラジオを活用して紹介することは、シビックプライドの醸成の観点からも有益である。 岐阜市政に関する情報を発信しており、民間では担い手がいない。 類似事業無し
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	県内全域をカバーしており、さらに、放送後にもアプリの「radiko(ラジコ)」で聴取できる(ぎふチャンのみ)など、効率的な番組制作を行っている。 岐阜市に本社を有するラジオ局は、ぎふチャン、FMわっちの2社しかなく、他に効率的な方法はない。番組作りにおいて市民協働の手法を取り入れることはできる。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	放送回数を今までの倍(朝と夕方の2回放送)することで、番組聴取者の拡大を図ることができた。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	市民および聴取可能エリアの住民は誰でも聴取できるため、公平である。
【総合評価】 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま